

7.7 制御状況

7.7.1 制御状況フォーマット読出し

制御状況フォーマット読出し要求(上位システム ⇒ 厨房機器)

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
項目	R	F	C	sp	sp	sp	0	0	0	1
	命令コード部						機器No(右詰)			
	要求	書式	コマンド拡張部分							
長さ	6						4			

制御状況フォーマット読出し応答(上位システム ← 厨房機器)

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
項目	A	F	C	sp	sp	sp	0	0	0	1	メーカーコード			機器分類				識別			サブ		有効サブ		変数							
	命令コード部						機器No(右詰)																									
	応答	書式	コマンド拡張部分																													
長さ	6						4				3			6				3			2		2		6							

No.	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	...	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	...	86					
項目	開始			略名										正式名称																								END
長さ	3			20										30																								1

項目	必須	形式	内容
メーカーコード	必須	[7.2.1] 参照	メーカーコード(機種情報のメーカーコード)
機器分類	必須	1バイト文字	日本厨房工業会『厨房機器分類コード』
識別	必須	1バイト文字	上位で処理するにあたっての情報(メーカー毎の機器種別)
サブ	必須	数値	データの順序を示す連番
有効サブ	必須	数値	「有効サブ」が示す「サブ」のボタンがONの場合のみ、[7.7.3 制御指示]にて、制御指示有効。 「有効サブ」が「00」の場合は、「有効サブ」による制限なし。(詳細は下記データ例参照。)
変数	必須	1バイト文字	データ名を表すコード(半角大文字英数)。全桁空白不可。[7.5.2 設定範囲情報読出し]の応答データにて、データ名の識別にも使用する為、異なるデータ名に同じ変数を使用しないこと。(重複不可)
開始	必須	数値	データの開始位置
略名	必須	文字列	データ名を表す略称
正式名称	必須	文字列	データ名を表す正式名称
END	必須	Y or N	途中データまたは最終データを示す

※ 長さ=1バイト固定、属性=スイッチ

※ 必須/任意について

「必須」・・・全桁空白不可。(データ無し不可)上位で処理するにあたって、必要な情報である為、必ず規定された形式で充填する。

「任意」・・・全桁空白可能。(データ無しとして扱うことができる)

【データ例】

(応答部分)

23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	...										86
サブ		有効サブ		変数						開始			略名				正式名称						END	
2		2		6						3			20				30						1	

23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	...										86
0	1	0	0	P	O	W	E	R	sp	0	0	1	電	源	sp	電	源	ボ	タ	ン	sp	sp	N	
0	2	0	1	R	U	N	A	sp	sp	0	0	2	運	転	A	A	室	運	転	ボ	タ	ン	N	
0	3	0	1	R	U	N	B	sp	sp	0	0	3	運	転	B	B	室	運	転	ボ	タ	ン	N	
0	4	0	1	R	U	N	C	sp	sp	0	0	4	運	転	C	C	室	運	転	ボ	タ	ン	N	
0	5	0	1	R	U	N	D	sp	sp	0	0	5	運	転	D	D	室	運	転	ボ	タ	ン	Y	

上記のような構造の機器の場合、有効サブが「00」である「電源ボタン」が最上位のキーとなるボタンとなり、A室運転ボタン、B室運転ボタン、C室運転ボタン、D室運転ボタンは、有効サブが示す「01」=電源ボタンが ON でなければ、ON 指示 / OFF 指示ができない。

例えば、

	制御状況	制御指示
電源ボタン	OFF	OFF
A室運転ボタン	OFF	ON
B室運転ボタン	OFF	OFF
C室運転ボタン	OFF	OFF
D室運転ボタン	OFF	OFF

→ NG (無効)

上記のような制御状況に対して、上記のような制御指示を行った場合、「電源ボタン」はOFFであるため、「A室運転ボタン」をOFF→ONにする指示は無効となる。A室運転ボタンをOFF→ONにしたい場合は、下記のように、「電源ボタン」のON指示もセットで行う必要がある。

	制御状況	制御指示
電源ボタン	OFF	ON
A室運転ボタン	OFF	ON
B室運転ボタン	OFF	OFF
C室運転ボタン	OFF	OFF
D室運転ボタン	OFF	OFF

→ OK (有効)

7.7.2 制御状況読み出し

制御状況読み出し要求(上位システム ⇒ 厨房機器)

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
項目	R	C	sp	sp	sp	sp	0	0	0	1
	命令コード部						機器No(右詰)			
	要求	制御	コマンド拡張部分							
長さ	6						4			

制御状況読み出し応答(上位システム ← 厨房機器)

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	...
項目	A	C	sp	sp	sp	sp	0	0	0	1	機種により可変長のデータ												
	命令コード部						機器No(右詰)																
	応答	制御	コマンド拡張部分																				
長さ	6						4				機種により可変長												

制御状況フォーマット によって、制御状況の関係付けを行う。

ヘッダを含むデータ長は、フォーマット電文の最終行で“サブ+10”を計算して求める。(以後、固定長として扱う)

可変部のデータ長は、フォーマット電文の最終行の“サブ”(以後、固定長として扱う)

※制御状況について

機器の電源ボタンや運転ボタンなどの制御状況を1バイトデータ(1:ON、0:OFF)で表す。各ボタンの名称は制御状況Formatで定義する。

【データ例】

	制御状況
電源ボタン	ON
A室運転ボタン	ON
B室運転ボタン	OFF
C室運転ボタン	OFF
D室運転ボタン	OFF

上記のような制御状況の場合、

(応答部分)

11	12	13	14	15
1	1	0	0	0

7.7.3 制御指示書込み

制御指示書き込み要求(上位システム ⇒ 厨房機器)

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	...
項目	W	C	sp	sp	sp	sp	0	0	0	1	機種により可変長のデータ(変更指示)												
	命令コード部						機器No(右詰)																
	要求	制御	コマンド拡張部分																				
長さ	6						4				機種により可変長												

制御指示書き込み応答(上位システム ⇐ 厨房機器)

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	...
項目	A	C	sp	sp	sp	sp	0	0	0	1	機種により可変長のデータ												
	命令コード部						機器No(右詰)																
	応答	制御	コマンド拡張部分																				
長さ	6						4				機種により可変長												

制御状況フォーマット によって、制御状況の意味付けを行う。

ヘッダを含むデータ長は、フォーマット電文の最終行で“サブ+10”を計算して求める。(以後、固定長として扱う)

可変部のデータ長は、フォーマット電文の最終行の“サブ”(以後、固定長として扱う)

※制御状況について

機器の電源ボタンや運転ボタンなどの制御状況を1バイトデータ(1:ON、0:OFF)で表す。各ボタンの名称は制御状況フォーマットで定義する。